

9 消耗部品の交換方法

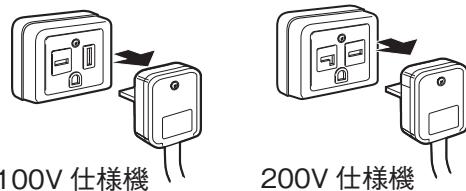
日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

⚠ 警告 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてから行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

⚠ 警告 取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に動かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります

⚠ 警告 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

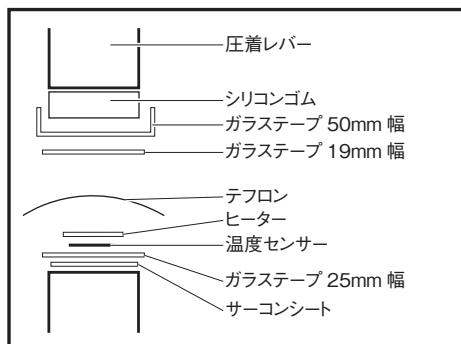


必ず電源プラグをコンセントから抜いた
状態で作業を行ってください。

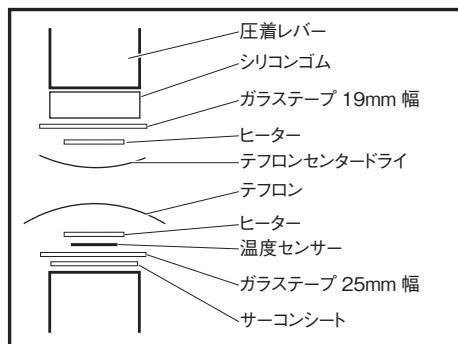
シール部の構造

シール部は下イラストの部品から構成されていますので部品の交換の時は順番を間違えないように正しく取り付けてください。

片側加熱式



上下加熱式



消耗部品の販売単位

消耗部品は長時間の使用で損傷し、シール状態が悪くなってしまいます。傷んだ部品を続けて使用すると故障の原因となりますので予備品を手元に置かれて、適時交換してください。

消耗品は下記表の発注単位で販売しています。

製品名・品名・数量を明確にご指定の上、製品をお買い上げいただいた富士インパルス取扱店へご注文ください。

部品名	販売単位
ヒーター (5mm、10mm とも)	1 セット 10 本または、1 セット 20 本
テフロン	1 セット 2 枚
シリコンゴム	1 セット 2 本
ガラステープ	5 M巻または 10 M巻 1 卷
サーテンシート	1 セット 2 本または、5 M巻 1 卷
樹脂ナット白 5mm	1 セット 5 個
テフロンセンタードライ	5 M巻 1 卷

9-1 下側テフロンのずらし方

【必 要 物】 ハサミ

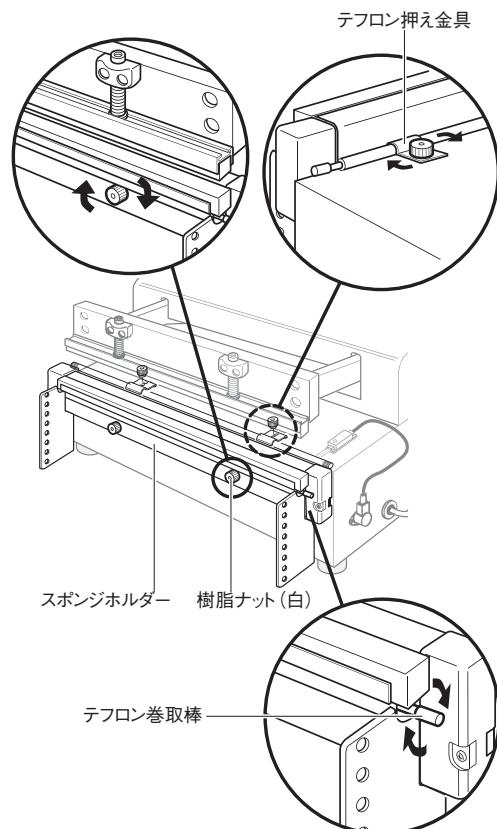
【交換の目安】 テフロンが変色し、袋がハガレにくくなつた、テフロンが破れたり、焦げてシールが汚い

テフロンが傷みましたらヒーター上部にテフロンの新しい面が来るようテフロンを前へずらして(引き出して)ください。

テフロンがヒーターにひついている場合、端からていねいにはがしてください。

テフロンは予備として25~30cm テフロン巻取棒に巻いてあります。残り少なくなった場合は、「9-2 テフロンの交換」をご覧いただきテフロンをシートごと交換してください。

- 1 テフロン押え金具と、スポンジホルダーを固定している4個の樹脂ナット(白)を緩めます。
- 2 テフロン巻取棒をまわし、傷んだテフロンを前後どちらかに15mm程巻きます。
- 3 テフロンのたるみがないように、テフロンを巻取り、テフロン押え金具とスポンジホルダーを樹脂ナット(白)で固定してください。

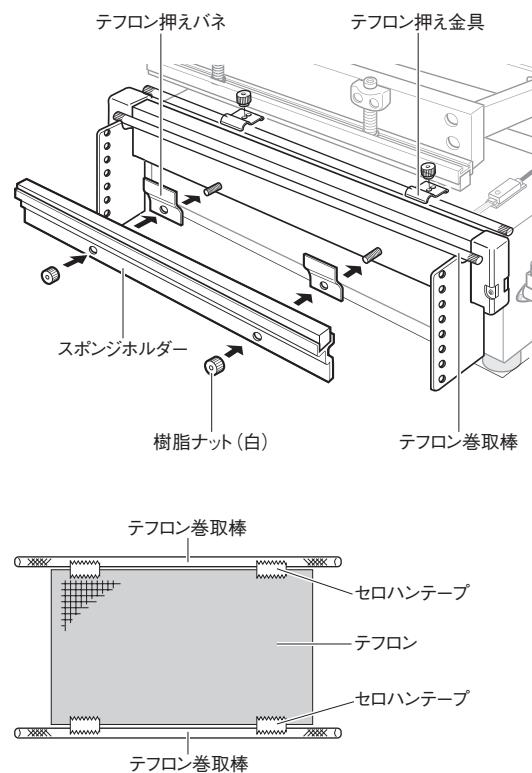


9-2 テフロンの交換

【必 要 物】 ハサミ、セロハンテープ

【交換の目安】 テフロンが変色し、袋がハガレにくくなつた、テフロンが破れたり、焦げてシールが汚い

- 1 スポンジホルダーを固定している2個の樹脂ナット(白)とテフロン押え金具を固定している2個の樹脂ナット(白)を外します。
- 2 スポンジホルダーとテフロン押えバネを外し、テフロン巻取り棒を抜き取りテフロンを外します。
- 3 テフロン巻取棒に新しいテフロンをセロハンテープなどを使って貼り付けます。
- 4 スポンジホルダーとテフロン押え金具の間に、テフロン巻取り棒を取り付け4個の樹脂ナット(白)で仮止めをします。
- 5 テフロンがヒーター上部でシワにならないようにテフロン巻取棒を回します。
- 6 4で仮止めした樹脂ナット(白)を回してテフロン押え金具を締付けテフロン巻取棒を固定します。



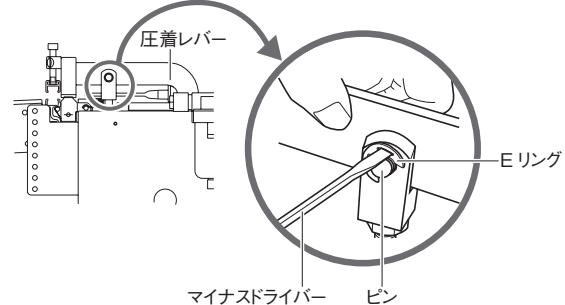
9-3 テフロンセンタードライの交換 (対象:上下加熱式)

シール押板に貼り付けているテフロンセンタードライを新しいテフロンセンタードライに貼り替えます。

【必 要 物】 ハサミ、マイナスドライバー

【交換の目安】 テフロンが変色し、袋がハガレにくくなつた、テフロンが破れたり、焦げてシールが汚い

- 1 本体カバーを持ち上げます。
- 2 右イラストのように左右圧着レバーのEリングをマイナスドライバーで取り外し、ピンを抜き取ります。
- 3 圧着レバーを上に持ち上げ、スポンジゴムを取り外します。

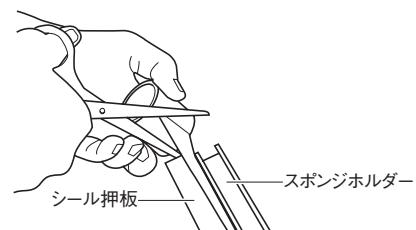
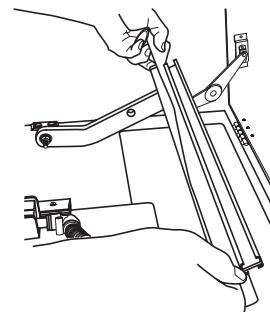
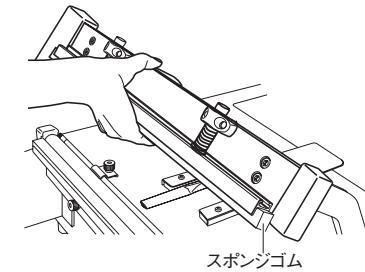


- 4 テフロンセンタードライを取り外します。新しいテフロンセンタードライの粘着テープが付いている面をシール押板の方に向け、スポンジホルダーとシール押板の隙間にテフロンセンタードライの一方の端を差し込み貼り付けます。

注 ! うまく貼り付けできない場合は、薄い定規などをスポンジホルダーとシール押板の間に差し込み、テフロンセンタードライをシール押板側に押し付けながらスライドさせてください。

- 5 シール部の長さに合わせてテフロンセンタードライをハサミなどで切れます。
- 6 テフロンセンタードライのもう一方の端の粘着テープをスポンジホルダーの反対側へ折り曲げて貼り付けます。

注 ! 貼り替え時の注意: テフロンセンタードライの中心にヒーターが位置するようにして、テフロンセンタードライの両サイドをシール押板に貼り付けてください。テフロンセンタードライにシワがある状態で貼り付けると、シールにもシワ模様が出来ます。



9-4 ヒーターの交換

【必 要 物】 プラスドライバー

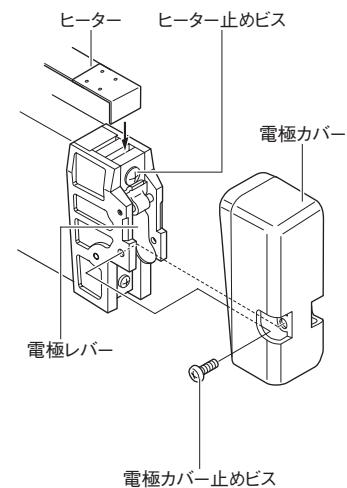
【交換の目安】 ヒーターが切れた、ヒーターの表面が
凸凹になっている、シールが汚い

⚠ 警告 シール幅(ヒーターの幅)が異なるヒーターへの
交換は絶対にしないでください。

- 1 ヒーターはテフロンまたは、テフロンセンタードライで覆われています。「9-1 下側テフロンのずらし方」「9-3 テフロンセンタードライの交換」をお読みいただき、テフロン、またはテフロンセンター ドライを外してください。
- 2 プラスドライバーで電極カバー側面の電極カバー止めビスを緩めて取り、電極カバーを外します。
- 3 電極レバーを上側のヒーターの場合は下方向、下側のヒーターの場合は上方向に起こし、ヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めます。
- 4 ヒーター止めビスを緩めると傷んだヒーターが取りはずせます。
- 5 電極レバーを起こしたまま新しいヒーターを電極の溝に挟み、ヒーターが電極から浮かないように抑えながらヒーター止めビスをしっかりと締めた後、電極レバーを倒します。

⚠ 警告 安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。

交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されると、トランス焼損の原因となります。



9-5 ガラステープ(19mm 幅:圧着レバー側、25mm 幅:シール受け板側)、サーコンシートの交換 (対象:全製品)

【必要物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い等

△ 注意 ヒーター下部のガラステープ、サーコンシートが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼替えてください。

ガラステープ、サーコンシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

1 「9-1 テフロンのずらし方(=片側加熱式の場合)」「9-3 テフロンセンタードライの交換(=上下加熱式の場合)」、「9-4 ヒータの交換」をお読みいただきテフロン、ヒーターを取り除いてください。

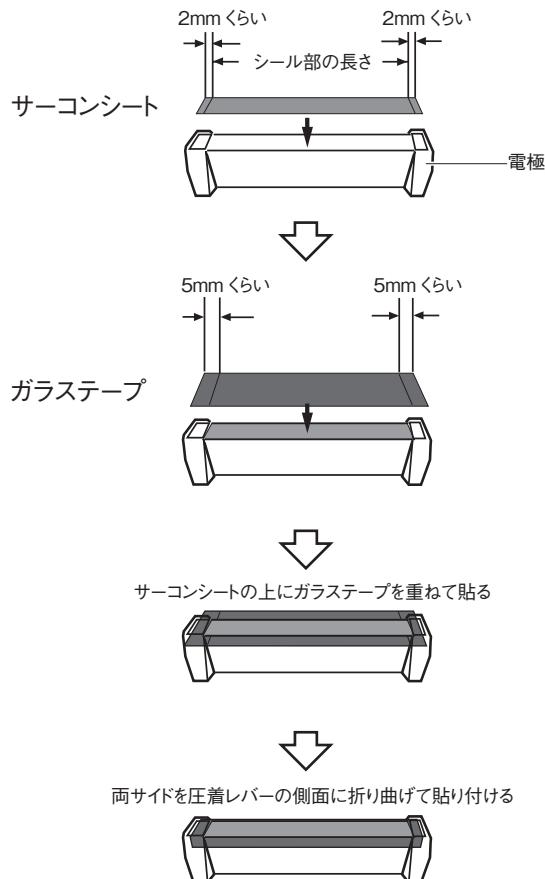
2 ヒーター下側のガラステープとサーコンシートをきれいにはがしてください。

注! 粘着のりが残っている上にサーコンシート、ガラステープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

3 新しいサーコンシートをシール部の長さより左右それぞれ約2mmずつ長めに貼り付けます。(1枚)

4 ガラステープをサーコンシートの上に重ねて貼り付けます。約5mmずつシール面の外側(電極の上)から貼り付けてください。(1枚)

注! ガラステープ交換の際に、サーコンシートのシール受け板への貼り付け粘着力が低下していましたらガラステープとともにサーコンシートも交換してください。

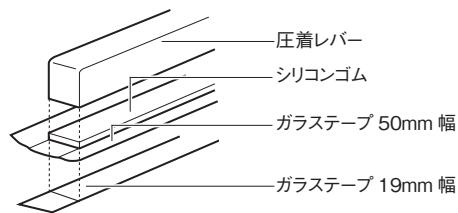


9-6 シリコンゴムの交換(対象:片側加熱式)

【必要物】 アルコール(エタノール)

【交換の目安】 シリコンゴムの表面が凸凹になっている

- 1 圧着レバーに貼り付けたシリコンゴム上面のガラスステープ2枚をはがします。
- 2 シリコンゴムをはがし、圧着レバーなどの粘着のりはアルコール(エタノール)できれいにふきとつてください。
(粘着しているのりを取らずにシリコンゴムを貼ると、きれいなシールに仕上がりません)
- 3 新しいシリコンゴムには、粘着テープがついています。剥離紙を外し、端から順に貼ります。
- 4 シリコンゴムを貼った後、その上にガラステープ2種類を50mm幅、19mm幅の順に貼ります。

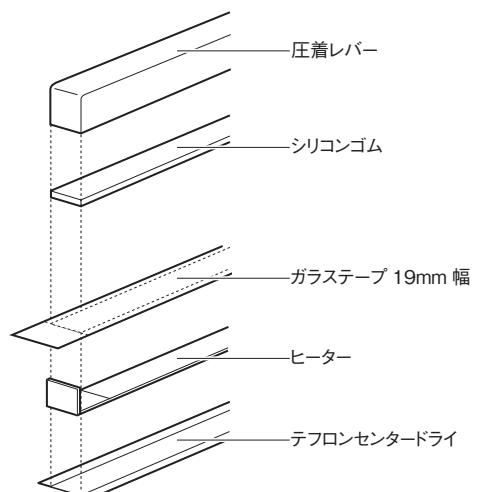


9-7 シリコンゴムの交換(対象:上下加熱式)

【必要物】 アルコール(エタノール)など

【交換の目安】 シリコンゴムの表面が凸凹になっている

- 1 「9-3 テフロンセンタードライの交換」「9-4 ヒーターの交換」「9-5 ガラステープ、サーコンシートの交換」をお読みいただき、テフロンセンタードライ、ヒーター、ガラステープを取り外してください。
- 2 シリコンゴムをはがし、圧着レバーなどの粘着のりはアルコール(エタノール)等できれいにふきとつてください。(粘着しているのりを取らずにシリコンゴムを貼ると、きれいなシールに仕上がりません)
- 3 新しいシリコンゴムには、粘着テープが付いています。剥離紙を外し、端から順に貼ります。
- 4 シリコンゴムを貼った後、その上にガラステープ、ヒーター、テフロンセンタードライの順には貼り付けてください。

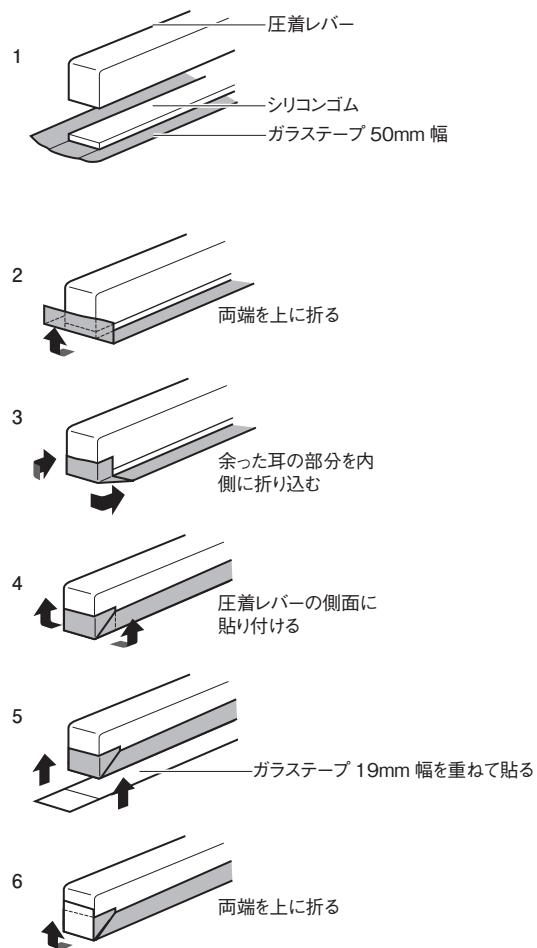


9-8 ガラステープ 50mm 幅の交換 (対象: 片側加熱式)

【必要物】 ハサミ

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い。

- 1 圧着レバーにシリコンゴムを貼った後、50mm 幅のガラステープをシリコンゴムより両端をそれぞれ約 2cm 長め目に切って貼ります。
- 2 余分に出した部分を上に折ります。
- 3 折ったところの耳の部分を左図のように、内側へ折り込みます。
- 4 ガラステープ 50mm 幅の両サイドを圧着レバーの両サイドに貼りつけます。
- 5 ガラステープ 50mm 幅の上から 19mm 幅のガラステープを圧着レバーより両端をそれぞれ約 2cm 長めに切って右イラストのように重ねて貼ってください。
- 6 19mm 幅ガラステープを圧着レバーより 2cm 長めに切って 50mm 幅ガラステープの上に重ねて貼り、長めに切ったガラステープの両端を折って貼り付けてください。



9-9 チューブの接続・離脱

配管チューブを抜き差しするときは、エルボ継手の開放リングを指先で押しながらチューブを抜いてください。

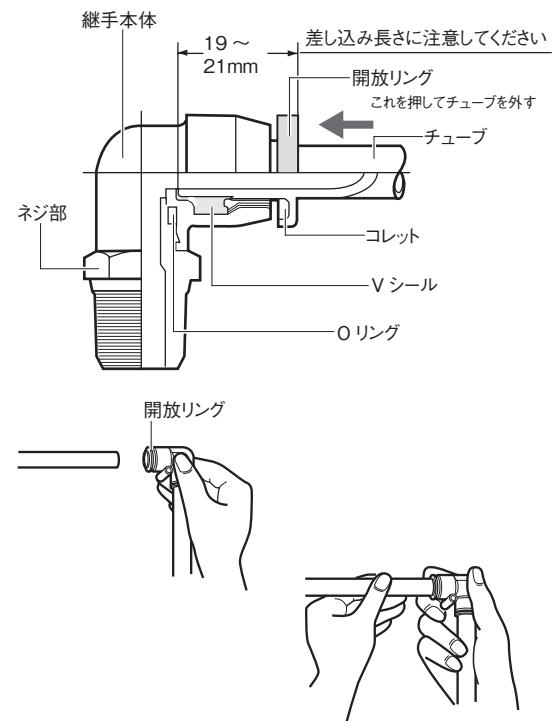
■ チューブの離脱

チューブを押し込みながら開放リングを平行に押すと、より容易にチューブを引き抜くことができます。

■ チューブの接続

チューブ装着時には、継手のチューブエンドまで完全に差し込んでください。

注 ! チューブの差し込みが少ないとエア漏れを起こしますので確実にチューブを差し込んでください。

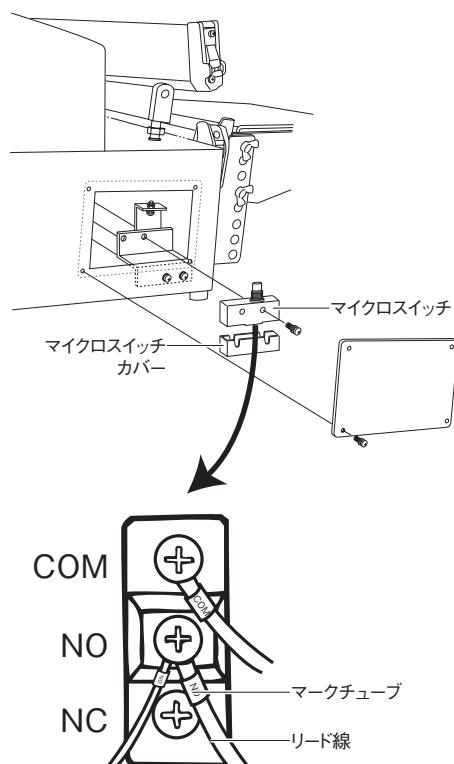


9-10 マイクロスイッチの交換

【必 要 物】 プラスドライバー

- 1 本体左側面にあるカバーをプラスドライバーで取り外してください。
- 2 マイクロスイッチを固定している2個のビスを取り外して、マイクロスイッチを取り出してください。
- 3 マイクロスイッチカバーを外し、プラスドライバーで配線を取り外して交換してください。

△ 注意 取り付ける時は、マイクロスイッチに記入されている表示 (COM、NO) とリード線に取り付けているマークチューブの表示を一致させて取付けてください。

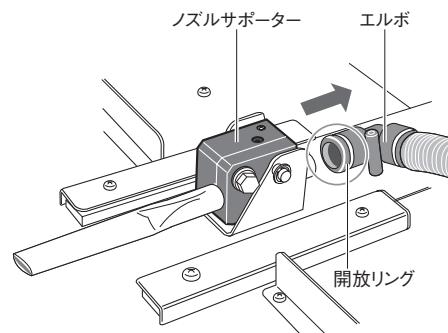


9-11 ノズルの交換

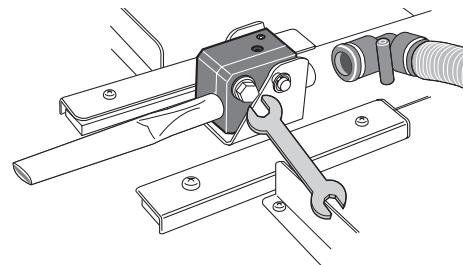
【必 要 物】 板スパナ

1 本体カバーを上へ持ち上げて開きます。

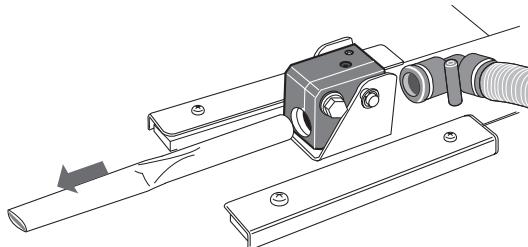
2 ノズルからエルボを外します。エルボの開放リングをノズルと水平方向に押すとロックが解除されます。



3 ノズルソーター側面のボルトを附属の板スパナで緩めます。



4 ノズルソーターからノズルを抜き取ります。



9-12 温度センサーの交換

【必要物】 プラスドライバー

【交換の目安】 温度センサーの破損

温度センサーは単品販売しています。

温度センサーは、ヒーターとガラステープの間に挟む位置にセットしてあります。

温度センサーは、圧着レバー右端に取り付けてあります。

- 1 「9-2 テフロンの交換」をお読みいただき、テフロンを取り外してください。
- 2 「9-4 ヒーターの交換」をお読みいただき、ヒーターを取り外してください。
- 3 ビス A-1、ビス A-2、ビス B を外し、温度センサー固定板を外して温度センサーを取り外してください。
- 4 温度センサー固定板（ビス A-1 側）を温度センサー先端部の穴に温度センサー固定板の突起部分をはめ込み圧着レバーに固定する。
- 5 温度センサー固定板（ビス A-2 側）で温度センサーを挟み込み仮固定する。（右イラスト参照）
- 6 温度センサー固定板（A-1 側）と温度センサー固定板（A-2 側）の間はたるまないように温度センサーモジュール側にセンサーを軽くひっぱりながら温度センサー固定板（A-2 側）をしっかりと固定してください。

△ 注意 ビス A-1 からビス A-2 の間はたるまないようにしてください。

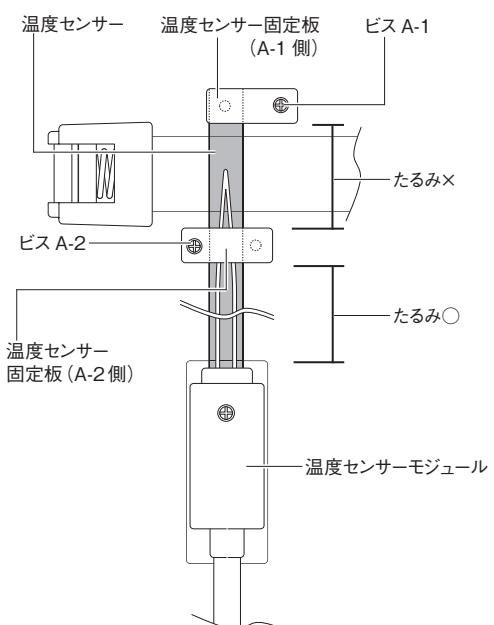
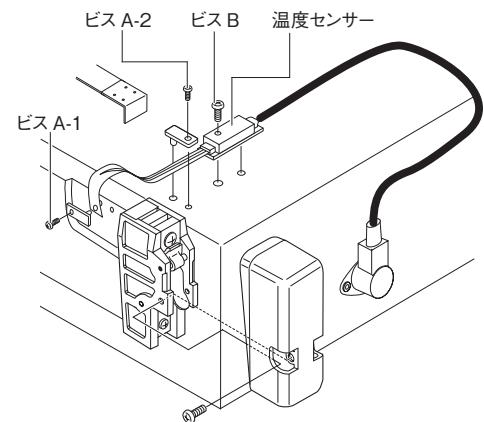
- 7 温度センサーモジュールを固定してください。
- 8 2、1 で取り外したヒーター、テフロンを取り付けてください。

△ 注意 温度センサーをひっぱる時、温度センサーモジュールを持って強くひっぱるとセンサー部が切れてしまうことがあります。

△ 注意 温度センサーの取付位置を誤りますと、シールができない場合があります。

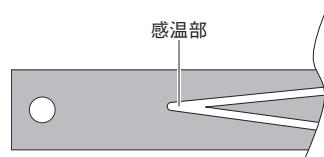
注 ! 取り付ける時、感知部がヒーターの中央にくるように取り付けてください。（右イラスト参照）

取り付け位置がずれているとヒーター温度を正しく検出することができません。



温度センサーの取付位置

● 温度センサー



● 取付位置

